

いにしえ
キラリよしおか古語り②



長塩屋敷内に残る土塁跡



長塩屋敷標柱

漆原大町に長塩屋敷と呼ばれる居館跡がある。

土地の人は「オカタのウチ」と呼び、長塩氏居宅の周囲に土塁跡と塚跡がある。

道路拡幅や耕地整理のため取り壊され、わずかにその面影をとどめるに過ぎない。

鎌倉時代亀山天皇の御代のころ（1269年）、桃井荘に桃井氏が地頭であった時、漆原は、漆原氏の所領であった。

室町時代になって、白井長尾氏が関東管領上杉氏の執事となった頃、漆原は、白井長尾氏の所領地であった。その後、箕輪城の長野氏が勢力を張ってくると漆原氏は、長野氏の配下に加わって箕輪衆と呼ばれるようになった。

「漆原の長塩屋敷」

『駒寄村史』によると、「永禄年間、箕輪城及び室田城主長野氏が武田信玄のために滅亡せられるや、その下臣十二名、漆原に來り居を此処に定め開拓の業を創む。これを十二紀（騎）と云う」とある。

その十二の氏名は、長塩氏を始め、飯塚氏・桑原氏・福田氏・千木良氏・石倉氏・近藤氏・長澤氏・栗原氏・斎藤氏・柴崎氏・青木氏である。

それぞれの氏は、氏神を祭り、守護神守り本尊とした。この人々が信仰する神と鎌倉時代亀山天皇の御代に奉紀した神とが同じものと思われる。

（参考文献：「吉岡村誌」）

編集後記

お盆が明けてから長雨により涼しい日々が続き、実りの秋を迎え稲穂の生育が、心配な今日この頃です。

議会開会中の9月10日、台風18号の記録的な豪雨で鬼怒川の堤防が決壊し、茨城県常総市に甚大な被害がでました。線状降水帯が利根川沿いだったらと思うと、ゾッとします。

自然の事象は、防ぐことができませんが、その時何をどうすべきかを考えておかなければと思います。

今議会からインターネット中継が始まりました。議会をライブで見られます。議員としてさらに襟を正さねばとの思いです。

議会だよりは、No.1008をまわりNo.1009です。煩惱を捨てて心新たに、みなさまに親しまれる議会だよりを目指します。

（金谷 康弘）

編集委員

委員長 坂田 一広
副委員長 金谷 康弘
委員 村越 哲夫
委員 竹内 憲明
委員 柴崎 徳一郎
委員 大林 裕子
委員 富岡 大志